

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉東郷電機製作所新工場建設	階数	地上2F
建設地	鳥取県東伯郡湯梨浜町門田字験12	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	65人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2021年9月7日
敷地面積	2,725㎡	作成者	村田 哲弘
建築面積	1,525㎡	確認日	2021年9月10日
延床面積	2,883㎡	確認者	坂元 玲子



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 89%  
③上記+②以外の: 89%  
④上記+: 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.0  
Q2 サービス性能: 3.3  
Q3 室外環境(敷地内): 2.4  
LR1 エネルギー: 3.0  
LR2 資源・マテリアル: 3.2  
LR3 敷地外環境: 3.2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境: 3.0, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

機能性: 3.2, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

建物外皮の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.0, 効率的: 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化: 3.4, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 既存の工場と調和した外観、近隣の住宅に圧迫を与えない配置とした。		その他 現場加工を極力抑さえ 建設工事における廃棄物削減に取り組む。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の材料を採用。	Q2 サービス性能 主要な用途上位3種の2種類以上にC以上を採用。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺のまちなみや景観に対して標準的な配慮。
LR1 エネルギー 照明などにおいて効率的な機器を選定した。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具を採用。	LR3 敷地外環境 LED照明器具を採用しCO <sub>2</sub> 削減。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される